



棚田で一日 楽しんだよ!

6月10日(日)、日本棚田百選に選ばれた入来町内之尾の棚田で、小学生とその家族を対象に、川内川再発見いきいき子ども教室が開催されました。鹿児島大学の平瑞樹^{ひらみずき}助教授から棚田の役割を学んだ後、三角杵を使った昔ながらの田植えを体験。

泥だらけになりながらも和やかな雰囲気の中、約500㎡の田んぼを一時間かけて植えました。その後、泥んこ田に放されたウナギを捕まえて初夏の田に慣れ親しみました。

気合、十分 さあ、引くぞ

6月1日(金)、サンアリーナせんだいで、第2回小学校綱引競技大会が開催され、市内39校から48チームが参加し、男女混合の8人制と10人制に分かれて優勝を争いました。

児童は円陣を組んで気合を入れた後、「ヤーツ」と声を掛けて綱を握り、審判の声に合わせて綱を引き合いました。中には負けが決まると泣き出す児童も。真剣に綱を引き合う児童たちに、応援する先生や保護者からは大きな声援を送っていました。



災害に備え 防災避難訓練

6月5日(火)、東郷町藤川地区の本保自治会で、自主防災組織による避難訓練が、約60人が参加して実施されました。

県北西部地震以後、災害に対し危機感を持つ住民たちが、「いざ」という時に備え、自主的に実施しているもので、今年で10回目の実施になります。

大雨が降り災害の恐れがあるという想定のもと、本保自主防災組織・市・消防関係機関が一体となり、本番さながらに訓練が行われました。



「とさかのり」の 水揚げ

6月19日(火)、鹿児島町でとさかのり漁が解禁され、とさかのり採りの名人たちが一斉に漁に挑みました。

「とさかのり」の名は、赤くて鶏のとさかに似ていることから付けられたものです。

初日は約650kgの水揚げがあり、期間中水揚げされたとさかのりは、地区コミュニティセンターなどで天日干しにされ、より鮮やかな赤色になります。きれいな色で、食卓を彩ることでしょう。

